



テレワーク・セミナー 開催のお知らせ

主催：厚生労働省

8.21の第3回は経営者と社員とのテレワーク賛否ギャップ感でお悩みの企業・団体の皆さま必見です!!

テーマ

経営者と社員とのテレワーク賛否ギャップを解消

テレワークに対する経営層と社員の間で意見や認識、価値観に差があると、働き方の方向性にズレを生じさせ、職場の不満や離職につながる可能性があります。経営者側は管理や統制を問題にし、社員側は柔軟な働き方を求めます。具体的には経営者側は生産性の低下やコミュニケーション、帰属意識の希薄化、育成やマネジメントを課題としています。一方社員側は通勤負担の軽減やワークライフバランス、自身のパフォーマンスを発揮できる環境をメリットとして挙げています。本セミナーでは、テレワーク導入・定着の好事例から見える解決策の提案、および労務管理の専門家を交え、労務管理の留意点を、わかりやすく解説します。



〈趣旨・目的〉

テレワークは、パソコンやインターネットといった情報通信技術（ICT）を活用して、時間や場所を有効に活用でき、さまざまな生活スタイルに応じた柔軟な働き方を可能にします。育児・介護による離職防止、採用の強化はもちろん、DX促進、BCP対策、社員のエンゲージメント向上や障害者雇用などによる労働人口の確保などテレワークには多くのメリットがあります。

本セミナーでは、労務管理セッションでのテレワークガイドラインの徹底解説、テレワーク導入企業による好事例紹介、テーマごとの導入事例などをご紹介いたします。加えて令和7年度は各回（全8回）に特別講演として、現在のテレワーク動向や各回テーマに応じて著名な方々の講演を予定しています。育児介護や地方創生、人材確保、オフィスのあり方、マネジメントなど関心の多い課題を中心に講演して頂きます。皆さまのご参加お待ちしております。

開催日

2025年 8月21日(木)

参加料

無料

時間

13:00～16:00

引き続き16:00より個別相談会／オンライン接続可能時間は12:50より

● 講演者のご紹介 ●

特別講演

経営者と社員との
テレワーク賛否
ギャップを解消

ブライトサイド株式会社
代表取締役・コンサルタント

武田 斉紀 氏

1986 年東京大学卒、株式会社リクルート入社。人事部を経て事業部へ、様々な業種・規模の数百社に採用・組織・ブランドコンサルティング、その後マーケティングの新規事業立上げに携わる。多くの企業を支援する中で「経営の中心に明確な理念をもつ企業は社員が生き生きと働き、顧客や社会に支持されて永続的に発展成長できる」と確信、2003 年に理念経営コンサルティングを専門とする現社を設立。著書「成功し続ける社長が守っている7つの約束」(明日香出版社)「なぜ社長の話はわかりにくいのか」(PHP 研)、「行きたくなる会社のつくり方」(ナナ出版)他多数、日経ビジネスオンラインで3年間コラムを執筆し常に上位ランク獲得。三菱UFJ 銀行の法人向けサイトでも16 年に渡って毎月ビジネスコラムを担当、ご好評をいただいている。



テレワーク導入企業等の好事例(取組)紹介

株式会社Massive Act
PR・シニアアソシエイト 澤澤玲菜 氏

PR主幹として、管理部門との連携、制度構築、アイデンティティの策定などを主導し、各官公庁や業界団体からの認定/受賞/アワード獲得など、数多くの実績を有する。PR/広報にとらわれず、制度設計・組織づくり・文化醸成の横断的な推進役としても活動中。



テレワーク導入事例紹介&ICT基本事項

一般社団法人 日本テレワーク協会
事務局長 村田瑞枝

1991年日本電信電話株式会社入社。人事部人材開発室を経て、マルチメディアビジネス開発部に所属。以降、26年間WEB戦略策定及び実施サポート、システム構築、デジタルマーケティングなどインターネット関連業務に携わる。中小企業診断士。1級ファイナンシャルプランニング技能士。ファイナンシャルプランナー(CFP)、ロングステイアドバイザー。2020年4月より現職。



テレワーク実施時の労務管理上の留意点

社会保険労務士事務所フォーアンド
代表 小山貴子 氏

日本テレワーク協会研究員。創業支援～上場企業まで、人の能力が最大限に発揮できる環境を目指し、テレワークの導入支援にも取り組む。12年前に自社従業員へテレワーク環境を準備。所属員全員がテレワークという組織も経験し、よりよい環境の提供に動しむ。

本セミナーはオンラインでの開催となります

参加申し込みいただいた方には、オンラインでのセミナーへの参加方法を後日メールにてお知らせします。

参加ご希望の方は、テレワーク総合ポータルサイトよりお申込みください。

お申込みは下記のWEBサイトまたは、QRコードよりお願いします。

<https://telework.mhlw.go.jp/kagayakutelework/seminar/2025/0821.html>

※お申込みは原則WEBサイトからのお申込みとさせていただきます。



● テレワーク・セミナー プログラム ●

13:00	本日のセミナーについて
13:05 ~ 13:35	【特別講演】経営者と社員とのテレワーク賛否ギャップを解消 プライツサイド株式 会社代表取締役・コンサルタント 武田斉紀 氏 テレワークは、経営側からすれば確かに管理(マネジメント力)向上や統制の配慮が必要となりますが、経営側と社員側が互いの目的に立ち返れば、選択肢の1つとして取り込むだけで双方にいくつものメリットがあるとわかります。また副次的に得られる“社員の自律的な働き方”の浸透は、目前に迫るAI経営の時代に必須であることもお伝えします。
13:35 ~ 14:05	【講演】テレワーク導入企業等の好事例(取組)紹介 「自律と信頼が両立するチーム」〜少数精鋭が選んだテレワークのリアル〜 株式会社Massive Act PR・シニアアソシエイト 濱澤玲菜 氏 経営層とメンバー両視点におけるテレワークへの認識やそこに生じるギャップに対し、当社の働き方や制度、企業文化といった側面から実施した取組内容とその成果をご紹介します。
14:05 ~ 14:15	休 憩
14:15 ~ 15:05	【講演】テレワーク導入事例紹介&ICT基本事項 一般社団法人日本テレワーク協会 事務局 村田瑞枝 氏 テレワークは、単なる「在宅勤務」ではなく、人手不足への対応策や、業務のムダを減らして利益を生み出すための経営手段として再注目されています。本セミナーでは、社員の働きやすさと生産性の向上を両立させたリアルな取り組み事例をもとに、明日から取り入れられる具体的な工夫や改善のヒントをご紹介します。またテレワークに欠かせないICTの留意点についても併せてご紹介いたします。
15:05 ~ 15:55	【講演】テレワーク実施時の労務管理上の留意点 経営者と社員とのテレワーク賛否ギャップを解消 社会保険労務士事務所フォーアンド 代表 小山貴子 氏 リアルな場で集まって仕事をする方がいいとお考え、よく分かります!「社員が自律した動きができる組織になっているか?一人ひとりが主体性を発揮できるチームづくりができていますか?」という視点からテレワークを考えてみませんか?
16:00 ~ 17:00	【個別相談会】※(事前に相談内容を登録した方) ※個別相談会の内容についてはセミナー申込みのWEBサイトをご参照ください。

令和7年度テレワークセミナーの日程

回 (開催形式)	1回目 (オンライン)	2回目 (オンライン)	3回目 (オンライン)	4回目 (仙台会場)	5回目 (オンライン)	6回目 (オンライン)	7回目 (広島会場)	8回目 (オンライン)
日 程	6月19日(木)	7月17日(木)	8月21日(木)	9月17日(水)	10月16日(木)	11月6日(木)	11月27日(木)	12月18日(木)
時 間	13:00 ~ 16:00							
テーマ 内 容	育児・介護・病氣 治療と仕事の 両立をテレワーク が解決	テレワーク 実施者と 非実施者の 不公平感を是正	経営者と社員 とのテレワーク 賛否ギャップ を解消	地方での人材 確保にもテレ ワークが役に 立つ	リモートワーク 時代の オフィスには 何が必要か	テレワークが 障がい者雇用 の課題を解決	地方でのビジネス 実践もテレワーク は不可欠	テレワーク社員の マネジメントと 評価は 難しい

セミナーへご参加いただきアンケートへ回答いただいた希望者全員へ申し上げます。



【お問い合わせ】

一般社団法人 日本テレワーク協会 (担当: 若生)

TEL: 03-5577-4572 (受付: 9時~17時 土・日、国民の祝日を除く)

E-mail: qa@telework-seminar.com

【主 催】厚生労働省 【受 託】一般社団法人日本テレワーク協会

今年度のセミナー
開催情報はここから

<https://telework.mhlw.go.jp/kagaya/kutelework/seminar/>



一般社団法人日本テレワーク協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は弊会の「個人情報保護方針」をご覧ください。今回、申込者より提供いただきました個人情報は、適正に管理することといたします。個人情報は、本セミナー事業に係る申込受付・確認および連絡、ならびにセミナーの運営と事業に関連するご案内のために必要な範囲で利用することとし、目的外には流用いたしません。